

令和2年4月30日

学校評価報告書

学校法人新潟大原学園

大原簿記公務員専門学校新潟校

大原医療秘書専門学校新潟校

令和元年度の「自己点検・自己評価総括表」をもとに、学校関係者からご意見を聴取し「学校評価報告書」を纏めました。総括表10項目とも概ね首肯できるとし、出されましたご意見・ご要望を中心に報告書といたします。なお、専門学校2校の評価は同一であることから一つといたします。

(1) 教育理念

<現状及び課題>

社会に貢献できる有為な産業人を育成する理念を堅持し、継続して体制充実や諸課題に取り組む。

<学校関係者評価・意見>

- ・地域社会で働く卒業生は、仕事を通じて地域社会の発展に寄与したい、社会への貢献を果たしたいという強い意欲を持っている。学校の有為な産業人を育成する精神は、今も引き継がれていると思う。県内企業は、元気で優秀な若者の活躍を期待しており、多くの人材を育成して欲しい。
- ・学校理念にもある「人格を陶冶する」等の文言に触れ、胸に刻んで学びそして仲間と励ましあって成長を心掛けることができたと思う。

(2) 学校運営

<現状及び課題>

教育の質向上のためにも、学校運営は法や諸規定に沿って厳格に取り組み、さらに業務の効率化や合理化を進める。

<学校関係者評価・意見>

- ・運営方針や事業計画が教職員に周知共有され、全員が統一した言動を取ることで学生から信頼が生まれ教育効果に繋がっていると思う。
- ・事業報告など情報公開を進めることにより、各方面からさらに意見や要望を得て教育効果を高めてもらいたい。

(3) 教育活動

<現状及び課題>

時代に即した実践的な教育を推し進めるために、カリキュラム・授業・教員の実力開発等の課題改善に一層取り組まなければならない。

<学校関係者評価・意見>

- ・資格取得の成功体験は、自信となりその後のチャレンジ意欲に繋がる。資格は、

現場で活用できる資産であり、一層の取得率向上を期待する。

- ・授業の質向上に向けて、テスト結果の分析、授業公開による意見交換、系列校授業見学など検討していく必要がある。
- ・就職活動では、大卒と同じ土俵で戦うことになるので、学びの短期間というハンデを乗り越える厳しさが必要となってくるので、集中して頑張してほしい。
- ・実業現場でどのような知識・技能が求められているか知るためにも、インターンシップ等の機会を増やすことが重要だ。

(4) 学修成果

<現状及び課題>

就職率、資格取得率は、学校評価に結び付く重要な目標項目であり、現状数値を維持し向上させたい。

<学校関係者評価・意見>

- ・進路希望に沿った高い就職率の維持は、時間を惜しまない教務担任のきめ細かい指導の賜物だと思う。また、普段の行動に対する躰指導が就職率に繋がっていると思う。
- ・学生時代に学んだ簿記は、今大きな強みとなっている。学生の皆さんに簿記をはじめ多くの資格取得などしっかりと学んでほしい。
- ・日々の授業や学校行事などで積極性や社会性さらにコミュニケーション力を高め大人への成長が感じられた。
- ・首都圏病院から内定を得るなど、学修成果が上がっていることは喜ばしいが、反面県内就職率が下がることになる。

(5) 学生支援

<現状及び課題>

担任教師による進路・就職指導をはじめ学習・生活指導など全般にわたる相談窓口となりきめ細かい対応は一定の評価を得ており、さらに保護者や高等学校との連携を強化し信頼度を高めたい。

<学校関係者評価・意見>

- ・先生方のサポート体制が整っており、また検定試験に向けた教材も充実していた。
- ・就職活動に対するきめ細かい指導があり、支援体制は整備されていると感じた。さらに個別企業の情報を収集していただき、職業選択の幅が広がるとよい。
- ・就活開始前には保護者説明会や個別面談があり安心感が増した。保護者との連携が感じられた。
- ・卒業生の中には新しい環境に慣れずにストレスを抱える者もいると思う。卒業生のフォロー・励ましは、これからの授業の充実に繋がるのではないかと。

(6) 教育環境

<現状及び課題>

教育環境の充実が学修成果にも影響する要素でもあり、切れ目ない見直し改善を

行う。また、防災・防犯対策の充実は地域貢献の重要なファクターでもある。

<学校関係者評価・意見>

- ・校舎は駅に近く通学には便利でよかった。また、ビジネス街にあり多くの働く人を見て将来の目標設定に役立った。
- ・授業で学んだパソコンは職場で使用するものと同じ最新型であったことから、スムーズに仕事ができる。

(7) 学生募集

<現状及び課題>

安定した学校経営は、学生確保が継続しているかにかかる。そのため、学修成果の向上とともに、最新で適格な情報提供活動も欠かせない。

<学校関係者評価・意見>

- ・オープンキャンパスで授業・学生生活・進路など細かい説明があり、入校には特に不安はなかったようだ。
- ・高校の先輩や、進路指導の先生からも専門学校の授業内容などを聞き、学校やコース選択など参考となった。
- ・内定を得た学生から出身高校の先生に対し現況を知らせるメッセージを出してもらい、後輩の進路指導の一助にしてもらったらどうか。
- ・少子高齢化が進む中で、医療-福祉-介護等の分野に従事する人が多く求められており、人材輩出を期待したい。

(8) 財務

<現状及び課題>

公認会計士より適切な指導を受け、健全経営を堅持したい。

<学校関係者評価・意見>

- ・特になし

(9) 法令順守

<現状及び課題>

法令順守は、教育関係者のみならず社会構成者の基本であり、事業運営において実践、指導を進めたい。

<学校関係者評価・意見>

- ・学生に対し、挨拶、清掃、ごみの出し方など身近な行動が、法令順守につながる大切なことであると指導してもらいたい。
- ・働き方改革を通して、働き甲斐のある素晴らしい職場を作ってほしい。

(10) 社会貢献

<現状及び課題>

専門学校の業務運営を通して、地域社会から励ましと信頼を受けるようこれから

も教育事業に邁進したい。

<学校関係者評価・意見>

- ・地域の防犯パトロールにも協力してもらい、社会貢献も熱心だと思う。町内にこのような学生がいるのは心強い。
- ・社会で活躍する人材を送り出すことが学校の一番の社会貢献だと思う。益々の発展を祈念します。

ご意見・ご要望を聴取した関係者各位（敬称略）

氏名	職務
駒形 正明	元会社役員（放送系）
曾根 通泰	町内会役員
高木 和昭	会社員（運輸系）卒業生
土田 雪枝	会社員（卒業生父兄）

以上